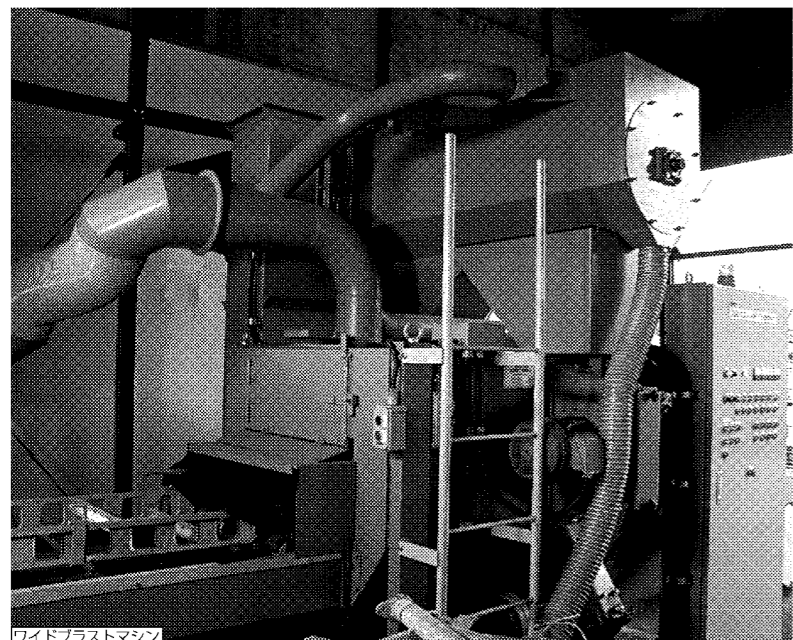


東日本大震災から二年。オカフジはこれからも復興のお役に立てるメーカーであり続けます。

## 高圧洗浄など、これまでの剥離とは次元が違う処理能力。 ワイドブラストマシン

ワイドブラストマシンは、リサイクル使用可能な特殊メディアを高性能ブラストユニットから全面均一に投射。コンクリートや樹脂系塗料などの付着物だけを短時間で除去します。もちろん建材の表面を保護する亜鉛メッキなどを損傷することはありません。



**用途** 仮設資材のコンクリート、樹脂系塗料、塗装の剥離など

**特長**

段取り替えなくあらゆる機材の表面処理・研掃材はリサイクルで低ランニングコスト  
発生粉じんは完全捕集で衛生的・送り速度の調整が自在  
簡単操作、連続処理全面均一仕上げ

ワイドブラストマシン  
動画 WEBで公開中!  
岡藤機工 検索

**OKAFUJI 岡藤機工 有限会社**

〒731-0232 広島市安佐北区亀山南2丁目49番4号  
TEL(082)815-5655 FAX(082)815-5696  
[URL] <http://www.okafuji.co.jp> [MAIL] [info@okafuji.co.jp](mailto:info@okafuji.co.jp)

■関東営業所

〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰2-18-2  
TEL(045)371-5870 FAX(045)383-4704

■その他 仮設資材関連商品

クランピング設備機  
ジャンプベースクレーン機  
踏み板取り機  
支柱曲がり矯正機

## 設置面積従来比 1/5、価格もスペースもコンパクト。 おてがるブラスト mini

「仕上がりの良いブラスト処理を施したいが、積段や置き場所を考えると難しい」。そんなお悩みを「おてがるブラスト mini」が解決します。形状の異なる素材を短時間で美しく仕上げるワイドブラストマシンの高性能をコンパクトなボディに搭載。フォークリフト一台で簡単に移動できるため、置き場所の少ない中小規模のヤードや使用頻度のあまり高くない企業様にもお薦めです。



大きな形状の異なる仮設機材・足場を、段取り替えなく一気にクリーニング処理。

# 震災の記憶を 風化させない

## 復旧・復興・防災

## 安全・安心な社会へ技術の結集を

### 公民連携プロジェクト

### デジタル記録を今後に残す

懸命な努力が続いて少すすつ私たちの暮らしを取り戻してきたものの、いまなお復旧・復興への道筋が見えてこない現地がある。被災地の課題は日本の課題の縮図。暮らしの基盤再生、産業再建など、さまざまな課題を乗り越えるために、産業界が担う役割がますます重要になっている。安全・安心で、快適な社会づくりに向け、知恵や技術を集めていく。公民連携プロジェクト

このプロジェクトは「被災地の失われた過去の記憶をデジタルで再生し、被災した現在と復興に向けた未来の、東日本大震災・災害復興まるごとデジタルアーカイブス（プロジェクト略称「311まるごとアーカイブス」）もその一つ。東日本大震災での経験や教訓を資産にして今後の復旧・復興、さらには防災などに生かしていくという取り組みだ。

映像や資料をデジタルで記録することによって、アーカイブしていくという取り組み。今年2月、茨城県つくば市の防災科学技術研究所や東日本大震災デジタルアーカイブ支援センター、地方自治体などが協働でその構築を進めている。

被災前や被災したときの状況、復旧・復興の過程などを記録し、保存。そして活用していくという取り組みは18年前の1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災から、復旧・復興した関係地域で行われてきて、効果を上げていく。

神戸市の「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」は災害に強

東北 関東地域を襲った東日本大震災からきょうで2年が経過した。また関西に大きな被害を出した阪神・淡路大震災からはすでに18年、この二つの巨大地震とそれに伴う複合災害で私たちはあまりにも大きな犠牲を払った。特に直

近の東日本大震災による被災からの復旧・復興はまだ道半ば。震災の記憶を風化させることなく、我々は大きな壁を乗り越え、復旧・復興、そして防災に対して着実に取り組み、歩んでいかなければならない。



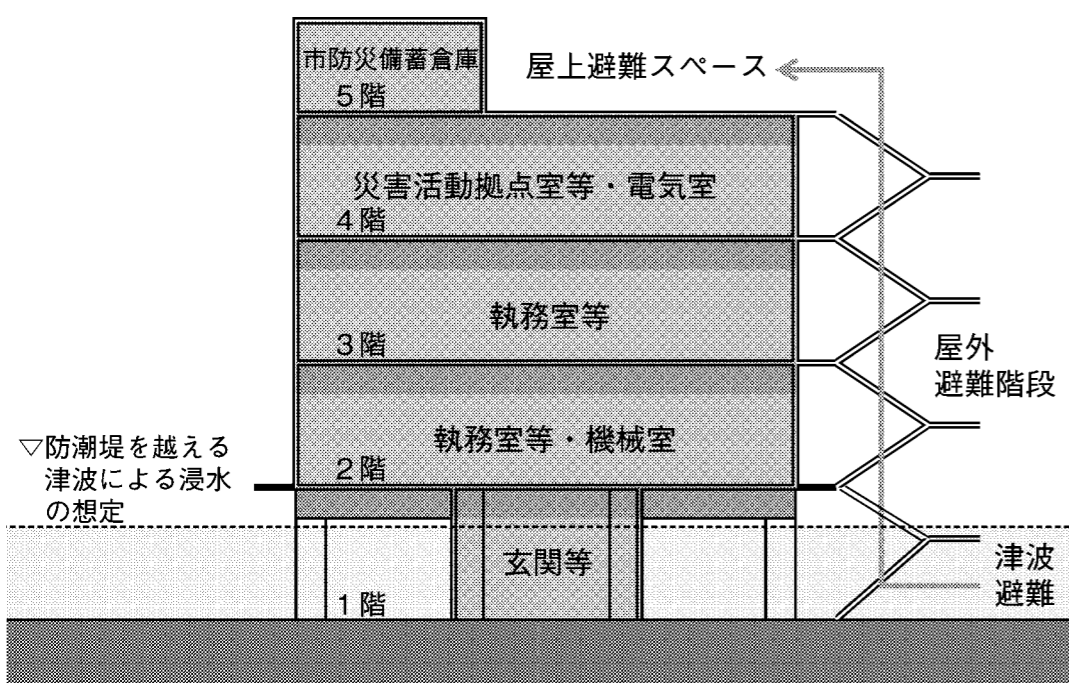
2月、つくば市で開催された「アーカイブ運用・利活用シンポジウム」

た。被災前や被災したときの状況、復旧・復興の過程などを記録し、保存。そして活用していくという取り組みは18年前の1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災から、復旧・復興した関係地域で行われてきて、効果を上げていく。

神戸市の「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」は災害に強



2011年3月11日、地震発生直後の都内オフィス街



新しく建設する石巻港湾合同庁舎は防災拠点の役割も担う

### 被災経験生かす都市インフラ整備

### 石巻、港湾地区に防災拠点

復興の一環として、被災経験を生かした都市インフラ整備を行うことも重要な。宮城県石巻市の港湾地区では国土交通省東北地方整備局で津波避難ビルとしての機能を備えた合同総合庁舎の建て替え計画が進んでいる。耐震性はもちろん、自家発電設備や貯水槽などを設置、1階部分は津波が来ても波の力を受け流すことができる構造を画定。

採用し、屋上には避難スペースを設置する。2014年3月の完成後は地域の防災拠点としての役割を担う。

新庁舎は5階建てで延べ床面積は2043平方メートル。総事業費は1億1000万円。防災面に加え省エネ型庁舎としても注目される。太陽光発電のほか、照明や空調などは省エネ製品をふんだんに取り入れ、年間の1次エネルギー消費量をネット（正味）でゼロまたはおおむねゼロとなるようにする。ネット・ゼロ・エネルギービル（ZEB）のモデルとして整備する。

旧庁舎は海抜7メートルで基礎部分を含め、大きく損傷してしまった。海上保安庁や税関支署などが入居していたが、現在は数ヶ月前に場所に移し、業務を行っている。庁舎を多く利用する周辺の港湾にある民間企業などは復興途上にある。庁舎を利用する人たちの手続きをスムーズに進め復興に貢献できるように、完成後はすみやかに新庁舎で業務を開始する。（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課）計画。

## 復興、そしてこれからの暮らしを支えるために。

ユニチカグループの力を結集し、復興地域の未来をサポートします。

復興への道程には、さまざまな問題が山積しています。

ユニチカでは自分たちに何ができるかを考え、

復興支援を目的に、グループ企業、事業部の力を結集し、

「復興地域再生支援チーム」を立ち上げました。

不織布や産業資材、繊維、環境調査・計測などの各分野で

これまで蓄積してきた技術や実績を活かし、

ユニチカグループの総合力で、

豊かな地域再生をお手伝いいたします。



**UNITIKA**  
We Realize It!

### ユニチカグループの復興支援関連製品・サービス



瓦礫や廃棄物、放射線を運搬するカバーリングシート、耐候性や生分解性を有する土のう、廃棄物の運搬作業を軽減する搬出シューターをご提供。

- ① アビール高機能カバーリングシート
- ① アビール遮光性保護マット
- ② 放射線遮蔽防水シート
- ② 耐候性大型土のう
- ② 搬出シューター（スカイウッドシュート）
- ② テラマック土のう
- ③ エルベスキャッピングシート



除染に役立つセシウム吸着繊維、透湿防水性能やバイオマス素材ベースの防護服素材をご提供。

- ③ セシウム吸着繊維材 CsCATCHER（シーエスキャッチャー）
- ③ 防護服



放射線や放射能検査、除染等の業務教育を実施。

- ④ 放射線将来予測
- ④ 除染等業務特別教育
- ④ 放射線現地調査
- ④ 放射能測定

### ■お問合せ先

- ① ユニチカ株式会社 スパンボンド営業部 [大阪] TEL.06-6281-5360
- ② ユニチカ株式会社 繊維資材営業部 [東京] TEL.03-3246-7551 [大阪] TEL.06-6281-5623
- ③ ユニチカトレーディング株式会社 営業推進室 [大阪] TEL.06-6203-7410
- ④ 株式会社ユニチカ環境技術センター 東京営業所 [東京] TEL.03-3246-7637

ユニチカ復興地域再生支援チームサイト  
<http://www.unitika.co.jp/ra/>

ユニチカ 復興

検索

※「アビール」「テラマック」「エルベス」「CsCATCHER」はユニチカ(株)の商標または登録商標です。